

王滝村 議会だより



恭賀新年



議長年頭あいさつ	2P～2P
一般質問	4P～6P
議会選出委員構成表 ほか	7P～8P

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2026年の輝かしい年を迎え、村民の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より、議会運営、政務活動にお力添えを賜りありがとうございます。昨年木曾では1,300年の歴史を持つ御杣始祭が行われました。御神木樹齢300年余の木曾檜が20年に一度、伊勢神宮（内宮・下宮）それぞれに収められています。伊勢神宮の建て替えには、王滝村の檜が90%以上占められています。また、国の動向では初の女性として初代内閣（高市）総理大臣が誕生いたしました。国民一人ひとり平等な社会の実現に向けた取組みに期待が集まりますが、新政権でこのまま進むかどうかは不透明です。望むところはたくさんあります。東京一極集中による過疎化・少子高齢化、頻発する自然災害、原油価格・物価高騰、などの対策を早急に推し進め、豊かな地域文化を守らなければなりません。地方公共団体の役割としても、村は総じて自主財源が乏しい中、福祉・医療・教育・子育て・防災・減災事業などの増大する課題解決に、迅速且つ、的確に対応して行かなくてはなりません。加えて、地域資源を活かした基幹産業の創出、地域に根付いた伝統を継承しつつ個性あふれる多様な地域づくり、真に必要なとする地方創生の実現に向けた取組を力強く進めて行く必要があります。こういった一連の流れの中で、王滝村が自主性・自立性を発揮して、地域の実情に応じた様々な行政サービスを継続していくためには、安定的な財政運営と、そのための財源確保が不可欠であります。こうした自主財源確保の為にも、長野県町村議会議長会長として、全国町村議会議長会の監事の立場から太いパイプで本来的役割を果たして行きたいと思っております。昨年10月には議会選挙が行われ、12年ぶりとなる定員6人に対して10名の立候補により選挙戦が行われ、新人2名・元職1名が新たに入れ替わり、新生議会がスタートしました。この体制の下、本来的役割を明確に自覚をもち、親しまれ解りやすい議会運営を進めてまいりたいと決意しております。新生議会として住民の負託に答え、「生活面・仕事面・環境面」などに耳を傾け、積極的に村民の意見集約を実現していきたいと思っております。そして、住民自治の原動力になり得る活動として、真に必要なとする議会活動に全議員が志も新たに強い決意で頑張ってまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、議会だより編集委員も刷新されました。議会情報をできるだけ早く、解りやすく、読みやすい紙面で発行したいと考えています。結びに、昨年は災いの多い年でした。今年こそ、村民の皆様にとって『光で明け、幸いの多い』年になりますよう、心から願いつつ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

王滝村議会 議長 下出 謙介



12 月定例会一般会計補正 1,077 万円を追加

11 月臨時一般会計補正では 982 万円の追加

一般質問には、三浦 真一氏、薩川 宏史氏、小谷 洋子氏の 3 氏が登壇

12 月定例議会は 18 日に開会。条例の制定、条例の一部改正、令和 7 年度一般会計補正予算など議案全てを原案どおり可決し閉会した。

また、11 月 20 日には臨時会を行い、人事院勧告に伴う関係条例の改正、令和 7 年度一般会計補正予算など議案全てを原案どおり可決した。

12 月定例会

〈補正予算の主な内容〉

○総務費 330 万円。①財産管理費 94 万円。村営住宅の設備や配管修繕が発生したことによる追加計上。②企画費 236 万円。子ども・子育て支援金制度の円滑な施行に向けたシステム改修費の計上。（特財：国庫補助金）

○障害者福祉費 160 万円。報酬改定等に伴う追加計上。

○国民年金事務取扱費 6 万円。国民年金法施行令等の一部改正に伴う追加計上。（特財：国庫委託金）

○保健衛生総務費 44 万円。簡易水道事業会計 3 号補正に伴う補助金の追加計上。

○土木費 280 万円。除雪車の車検実施時の修繕箇所増加に伴う追加計上。マイクロバスの緊急修繕等による追加計上。

○災害対策費 133 万円。防災備蓄倉庫整備工事の工種変更に伴う追加計上。（特財：緊急防災・減災事業債）

○債務負担行為の補正。（ゼロ債務負担行為）の追加。（限度額 1260 万円）マイクロバス故障のため代替。※ゼロ債務負担行為とは、現年度中に債務負担行為を設定して、新年度の歳出予算において事業費を計上する。

11 月臨時会

〈補正予算の主な内容〉

○総務費 663 万円。人事院勧告に伴う職員人件費の追加計上。

○民生費 11 万円。人事院勧告に伴う会計年度任用職員（保育園保育士、調理師）人件費の計上。

○衛生費 239 万円。直診会計 3 号補正に係る操出金、簡易水道事業会計 2 号補正に係る補助金の追加計上。

○教育費 68 万円。人事院勧告に伴う会計年度任用職員（学校教員、社会教育指導員、公民館長、学校給食調理員）人件費の追加計上。

○交通事故の事実確認調査において西村祥夫議員から議会に対し看過し難い極めて不適切な対応があった為、同議員に対する辞職勧告を決議した。

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会は、令和 7 年 11 月 25 日に 11 月定例会を開催。

定例会の前に議員全員協議会が開かれ、令和 9 年度末に、「なんてんの里」（木曾町三岳）と「四賀福寿荘」（松本市）の 2 施設の廃止が報告された。

定例会では提出議案は 6 件で、全て可決し、その日のうちに閉会した。

管理者からの専決処分事項について報告を受け、内容を確認した。



一般質問そこが知りたい

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

木曽病院産科医療について 三浦 真一

1. 王滝村村誌編纂について

問「村誌編纂委員会」が発足された当時、どのような構成、予算、スケジュールで計画されていたのか、当時の議事録等、資料の提示と説明を。近現代誌が発刊されていない状況ですが、発刊されなかった理由は。

答（教育長）議会からの「経費をかけすぎいるのではないのか」との難色から、当時の村長により、令和3年度をもって編纂委員会の活動を終えたため、予定していた「歴史編Ⅲ（現代編）」と「民族編」の2巻は未発行となった。

一度終了した事業ではあるが、発刊を望む声もニーズの高まりもあるので、その声を後押しに、どこかのタイミングで予算を組み込んでいけたらと思う。議会とも話し合いながら発刊にむけて進めていければと考えている。

2. 木曽病院産科医療問題・現状と将来像について

問 長野県の支援制度の詳細と王滝村としての支援は。6町村と「ルートインジャパン」との協定を結んだが「14泊15日」という上限が設けてあるが、「14泊」という設定の根拠は15泊以上が必要なときは「上限」を撤廃し、不足分を村独自で支援していく考えは。

住民票が村に無い、村出身者の里帰り出産の支援は対象になるか。現状の「分娩休止」をどのように考えるか。将来的に「6町村と協力し合って再開をできる方法を探す」という考えはあるか。

答（越原村長）住民票が村に無い方の支援については、すでに国の要綱があり、各自治体において取り組みがなされていて、支援がだぶらないように対象としていない。紹介があれば、住民票を置いている市町村へ問い合わせを案内する。ただし、「現住所を置いてある自治体で同様な支援が受けられないのでは、」という意見もある。郡内で差が出ないように取り組むこと

を念頭にして前向きに支援がなされるように検討していく。

現在の分娩中止は、木曽郡だけの問題ではなく、全国の問題であり、産婦人科医、小児科医麻酔科医等の不足は地方へ行くほど深刻な問題になり、長野県内のみでは医師の確保ができないことから、木曽郡町村会による要望活動を行い県、国へ働きかけを行っている。

「将来的に6町村協力し合って再開できる方法を考えては」とのことですが、一番は地域の方が安心して、安全に分娩できる医療体制の確保がポイント。

木曽病院の医師確保は病院長が主体に取り組まれているが、今後、木曽郡の人口減少が見込まれ、常勤医師の配置が厳しい状況が続くと予想されるため、木曽郡の医療調整会議等での議論を踏まえ、町村会による県、国への要望活動を引き続き行っていく。



公営企業会計からの脱却

薩川 宏史

1. スキー場問題：公営企業会計からの脱却と持続可能なリゾートへの転換

問 スキー場問題は過去 20 年以上にわたる難題であり、スキー場検討委員会が準備期間を含めて 3 年をかけて一定の結論を出した。村長が今回打ち出した「公営企業会計から一般会計への移行」という方針は、有利な起債（過疎債）の利用を可能にするための方策と理解する。そこで確認したい。スキー場運営には年間、約 1.5 億円～2 億円の経費がかかっているが、その大部分を占める「メンテナンス費用」や「指定管理料」に対して、過疎債を利用することは可能なのか。

答（越原村長） 直近 5 年間の経費を見ると、リフトの修繕費が 54%と過半数を占めている。過疎債については、維持管理的なものには使えないが、新設や大規模改修には活用できると認識している。一方で、指定管理料への充当はできない。

問 村長の答弁から推察するに、主要なランニングコストに過疎債を充てるのは困難であり、一般会計化だけで劇的な経費削減ができるかは不透明だ。具体的な経費削減効果の見込みはどう考えているか。また、リフトの「固定循環式」への切り替え案も出ているが、速度低下によるスキーヤーの利便性低下やリフト料金への悪影響が予想される。運営会社（シシ社）との兼ね合いをどう整理するのか。

答（越原村長） ソフト面（ランニングコスト）については、過疎債のソフト枠が使える可能性はあるが、枠には限りがある。コスト削減の具体例としては、現在最も維持費がかかる「第 7 クワッドリフト」が挙げられる。これを現状維持した場合、修繕に 5 年で約 1 億 8400 万円、10 年で約 3 億 4500 万円かかる。これを今後 10 年間のうちに自動循環式から固定循環式へ架け替えることで、電気代や維持管理費を大幅に削減できると考えている。具体的な数値化は今後の課題としたい。

問 予算の出どころを一般会計に変えるだけでは、村が経費を負担し続けることに変わりはなく、スキー場問題の根本解決にはならない。この問題を解決するためには、他のアクションも必要ではないか。スキー場検討委員会では「八海山全域を総合リゾートとして運営できる事業

者の誘致」という意見も出された。村だけで解決しようせず、県などの知見を借りて、場合によっては村長自らが「トップセールス」を行い、外部資本を呼び込むアクションが必要ではないか。

答（越原村長） 王滝村は宿泊施設が減少しており、夏冬通して活用できるグレンデ運営や雇用の場は不可欠だ。私自身、現在は J クレジットの販売等で企業を回っているが、スキー場についても具体的な提案や協力が得られる場があれば足しげく運び、トップセールスを行いたい。

2. 役場移転計画：防災拠点の再構築と「プラン B」の検討

問 「中学校への役場移転（プラン A）」について、議会は防災面の懸念や補助金活用の観点から、12 月 1 日に検討の猶予を求め、12 月 8 日に村長の下承を頂いた。これを受け、議会側でも中学校への移転案に代わる別案（プラン B）を調査中だ。先日、長野県の企画振興部長と懇談し、財政支援制度等のアドバイスをいただいた。こうした知見を反映させるため、今後、役場職員からの専門的かつ幅広い意見を聞く場を設けたいと考えているが、村長の考えは。

答（越原村長） 職員への聞き取りや意見交換は自由に行っていただいて構わない。

問 職員の知見を得て、プラン B が行政プランとして耐えうるものだと判断できれば、速やかに行政側に引き継ぎたい。中学校への移転案は「中学校の閉校」という非常に重い問題を孕んでいる。将来、「役場移転が子供の減少を加速させた」と批判を浴びるリスクもある。決定のプロセスを村長一人の責任に帰すのではなく、委員会等の答申を経るなど、民主的な手続きを整えて責任を分散させるべきではないか。

答（越原村長） 役場内での検討を経て、中学校への移転を具体案として住民に提示してきた。大部分の区で賛同をいただいたという認識のもと、予算をお認めいただき進めてきた経緯がある。しかし、議員が考えられている「プラン B」が現実的なものであれば、当然それと比較検討し、必要であれば再び村民に説明する機会を設けるべきだと考えている。

問 王滝村は過去に大規模災害を経験しており、防災体制の構築は最優先事項だ。移転を機に、警察や消防、さらに自衛隊などの後方支援拠点としての機能も含め、災害に強い王滝村を再構築してほしい。

3. 指定管理者の選定：質の高い運営と地域経済の波及効果

問 現在、指定管理者の公募において「村内に住所がある事業者」に限定する条件が付されている。しかし、人口減少により村内事業者は限られており、最近では営業実態のない事業者や、破産によって債権者に多大な迷惑をかけた可能性がある事業者等、問題のある事業者の事例も発生している。なぜ「村内」に限定し続けているのか。

答（森総務課長）： 条例で規定されているわけではないが、地域振興を目的とする以上、地元の雇用維持や地域事情への精通、行政との密な連携を期待して条件を付してきた。しかし、他の自治体の事業者であっても、地域事情を理解し連携していただけるのであれば、今後は柔軟に対応していきたいと考えている。

問 「田の原の新施設」の指定管理者はどのように選定する予定か。

答（森総務課長）： 田の原の施設については、指定管理者制度ではなく「貸付方式」での運営を検討している。選定にあたっては、利害関係のない「村外の有識者」を審査委員に招き、透明性の高い選考を行いたい。

問 村外の有識者による選定は賢明な判断だ。村内にこだわらず、王滝村の起爆剤となるような優良な運営者を誘致することを強く要望する。

物価高騰対策について

小谷 洋子

1. 村内プレミアム商品券事業について

問 発行数が前年（令和6年度）の1,000冊から800冊に減った理由を追及。1冊1万円という単位は年金生活者には負担が重いため、5,000円単位の発行や、近隣自治体（木曽町など）のような手厚い支援ができないか。（例：木曽町は、5,000円の商品券を買えば、10,000円分の買い物が可能）。

答 前年は1000冊の完売に220日かかったが、今年は800冊に減らしたところ15日で完売したため、需要に合わせた数と考えている。つきも同じく800冊を予定している。5,000円単位の発行は今後検討するが、予算の枠組みがあるため慎重に判断する。

要望 今年度はプレミアム券が買えない村民が多数出たので次年度は、もっと増やすべきではないか。販売単位も10000円という枠組みのほか、5000円という単位も必要だと思う。売れ残ったら、再度村民への重複販売も希望する。

2. 物価高騰対策（水道料金の減免）

問 水源地でありながら水道代が高い現状を訴え、具体的な減免額を確認。

答 6ヶ月間、基本料金（月額1,450円、6ヶ月間で8,700円）を免除している。

要望 村内戸数の少なさによる高料金も理解できるが、下流域の上下水道料金より、はるかに高い当村の現状は憂慮すべき問題だ。これから水道管等インフラへの多大な投資が必要となる今しっかりと対応を考えて行かねばならない。

3. 地域おこし協力隊・集落支援員の活動実態

問 活動の不透明さがある。多くの隊員及び支援員がいるが、村民には何をしているか伝わってこない。それぞれの隊員が受け取れる金額は約500万円/年（総務省より支給）である。実態と見合っていないのではないか。

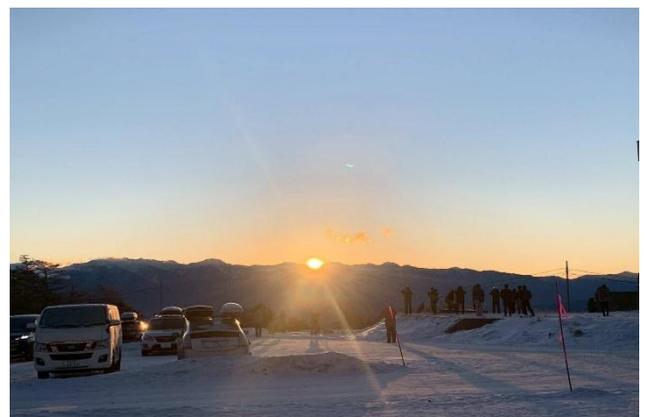
答 周知不足を認め、今後はネットや広報での発信を強化する。採用を「ミッション型」に切り替え、村の課題に直結する業務（バス運転、林業振興など）での活用を進める。

要望： 村民が真に困っている「草刈り」「獣害対策」「高齢者の手伝い」に直結する人材を確保し、成果が出ない場合は契約解除も視野に入れた対応を求めた。

4. 総括：行政と村民の経済的感覚の乖離

役場職員と、国民年金（月額約6万円）で暮らす高齢者との「金銭感覚のズレ」を指摘。

仏事の香典やお年玉さえ工面が苦しい村民の切実な生活実態を認識し、総務省の予算だからと甘えることなく血税（交付金）を真に村民の利益になる形で使ってほしいと強く要望した。





議 長	下出 謙介		
副 議 長	薩川 宏史		
総務常任委員会	◎小谷 洋子	○薩川 宏史	三浦 真一
	西村 祥夫	吉田 広史	下出 謙介
議会運営委員会	◎吉田 広史	○三浦 真一	小谷 洋子
	西村 祥夫	薩川 宏史	
議会だより編集 特別委員会	◎三浦 真一	○吉田 広史	薩川 宏史
◎委員長 ○副委員長			
	議 員 氏 名		
木曾広域連合議会議員	下出 謙介	薩川 宏史	
松塩筑木曾老人施設組合議会議員	三浦 真一		

請願と陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

○診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める

陳情書 採択

○高額医療費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情書 採択

○私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書 資料配付

○女性の農業委員・農地利用適正化推進委員への登用促進に関する要請書



全面凍結した自然湖

《 編集後記 》

新年あけましておめでとうございます。
2026年 今年も素晴らしい初日の出で幕を開けました。編集メンバーも入れ替わり、また新たな気持ちで村民の皆様へに議会の情報をお届けします。今年一年が皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。
(広)

議会日誌

- 9月11日 村議会9月定例会
13日 神坂スマートインターチェンジ開通式
14日 王滝村防災訓練・長野県西部地震追悼式
19日 長野県町村議会議長会政務調査部会
24日 長野県町村議会議長会打合せ（木曽町）
25日 例月出納検査（8月分）
27日 御嶽山噴火災害犠牲者献花式
- 10月1日 おうたき保育園運動会・木曽郡町村議会議長会（木曽町）
2日 長野県町村議会議長会役員会
～3日（王滝村・上松町）
4日 長寿を祝う会
6日 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会（大桑村）
14日 北信越町村議会議長会会長会議・全国町村会
～15日 日都道府県会長会（東京都）
16日 全国監査委員研修会 ～17日（東京都）
18日 長野県戦没者追悼式（伊那市）
19日 霊神社慰霊大祭
20日 議員懇談会
22日 木曽郡町村議会議長会関係部局要請活動
24日 村議会11月臨時会（初議会）
29日 長野県町村議会議長会打合せ（木曽町）
30日 例月出納検査（9月分）・長野県町村議会議長会定期総会（長野市）
31日 議会だより発行（170号）
- 11月4日 第1回総務文教常任委員会・第2回議会全員協議会
7日 県への要望運動及び知事との懇談会
11日 第2回総務文教常任委員会・全国町村会都道府県会長会（東京都）
12日 町村議会議長全国大会（東京都）
13日 長野県後期高齢者医療広域連合議会
14日 総務文教常任委員会施設視察
17日 愛知県水道南部・北部ブロック協議会表敬訪問
18日 木曽広域連合議会・議会運営委員会・総務常任委員会・経済観光常任委員会・福祉環境常任委員会（木曽町）
20日 第3回総務文教常任委員会・第8回議会運営委員会・村議会11月臨時会・第1回経済産業常任委員会・第9回議会運営委員会
25日 中間監査・全国町村議会議長会（共済会）
26日 例月出納検査（10月分）・長野県町村議会議長会県選出国會議員への要望活動
～27日（東京都）
27日 御嶽スキー場安全祈願祭
28日 広域連合議会11月定例会（木曽町）
- 12月1日 第4回総務文教常任委員会
5日 長野県町村議会議長会役員会・令和7年中間監査（長野市）
8日 商工懇談会（村公民館）
11日 郡内司法施設説明会・第4回全員協議会・第10回議会運営委員会
15日 第3回議会全員協議会（長野県企画振興部長との懇談会）
16日 防犯指導委員会
18日 村議会12月定例会

発行/王滝村議会
編集/議会だより編集特別委員会
長野県木曽郡王滝村 3623/(電)0264-48-2001